

特集

種苗交換会受賞者の喜びの声

10月31日から11月6日まで仙北市で開催された、『第136回秋田県種苗交換会』において、当管内から秋田県知事賞（1等賞）に5名が選ばれました。

ここでは受賞された方々の喜びの声や、農業にかける思い、今後への意気込みなどを掲載致します。



桂田 浩樹さん(44)〈右上〉
(藤里町粕毛字上谷地)



リンドウ
農林水産大臣賞
秋田県知事賞
及び

経営規模

○リンドウ……22 a
○水 稲……23 a

専業農家2年目で、みごと最高賞の農林水産大臣賞を受賞した、桂田浩樹さん。手掛けている白神リンドウは、JAと藤里町が特産品化を進めている作物で、今年で出荷開始4年目を迎え、2千万円を超える販売高を記録しました。

・受賞の感想

「ゼロからのスタートだったリンドウ栽培は、地元農家や家族、JAや行政関係者など、たくさんの方に助けて頂きました。今回の受賞で、その人たちへの恩返しができ、本当に嬉しいです。」

・栽培への取り組み

「3年前に仙台の生花市場に行った際、白神リンドウの需要の高さに驚き、栽培を決意しました。圃場は休耕田を耕し、土壌改良剤などで地力向上を行い、ミネラル豊富な白神山地の水を引いています。去年は病害虫予防のため、枯れ枝や枯れ葉の除去・除草や花つ



み作業で、株の養成に努めました。今年の収穫時には、リンドウ内の水分量が多いものを、ストーブをつけたハウスに置いて乾燥させてから出荷作業を行い、病気の発生等を防いでいます。」

・今後へ向けて

「白神リンドウの特産品化に向け、雇用対策や水の確保、栽培技術向上を行いながら、面積拡大をしていきたいと思えます。また白神リンドウの知名度を上げて、若い人がどんどん栽培に参加し、藤里町をリンドウ産地として確立できればと考えています。」